

# 希望 この手に

沖縄の貧困・子どものいま

石垣市立石垣中学校は「生徒全員を高校生にしてあげよう」という宣言の下、高校進学率向上に取り組んでいる。対策を始めた2012年度は県平均を下回る92・0%だったが、13年度は93・4%、14年度は94・6%と、着実に上昇。15年度は県平均を超え、国平均に迫る98・1%まで進んだ。家庭の経済状況



「生徒支援委員会」で生徒の課題を共有する石垣中学校の教職員。5月26日、石垣市新川の同校

## 石垣中

### 第3部 ②

が厳しい生徒は全体の3割。この数字は毎年変わらないが、教職員、PTA、地域で生徒支援に徹し、成果を挙げている。

同校は週1回、「生徒支援委員会」を開く。議題は、問題行動がある生徒について。学年主任らが集まり、それぞれの生徒にどのような支援ができるのかを話し合う。他校

が厳しい生徒は全体の3割。この数字は毎年変わらないが、教職員、PTA、地域で生徒支援に徹し、成果を挙げている。

## 困窮3割も進学92→98%

# 地域一丸「全員高校へ」

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

「生徒支援委員会」で生徒の課題を共有する石垣中学校の教職員。5月26日、石垣市新川の同校

「生徒支援委員会」で生徒の課題を共有する石垣中学校の教職員。5月26日、石垣市新川の同校

教師の意識に変化を生んだ。教育相談担当の小野寺紀子教諭は「駄目」と注意するのではなく、「何かあったの？」と声を掛けるようになった。指導の前にワンクッション置くことで、生徒も「実は…」と、悩みを打ち明けてくれる」と説明する。現在、授業中に校内をうろつく生徒はおらず、「学校全体が落ち着き、安心して授業を受けら

担任や学習支援員だけでなく、音楽や美術の教員なども放課後の補習をするようになった。南和秀校長も、受験前は3年生向けの早朝講座で教壇に立つ。南校長は「毎日補

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

ない生徒を見てきた。「経済格差を教育格差にはいけぬ。この子たちが貧困の連鎖を断ち切ろう」。熱い思いが徐々に学校全体に広がった。

担任や学習支援員だけでなく、音楽や美術の教員なども放課後の補習をするようになった。南和秀校長も、受験前は3年生向けの早朝講座で教壇に立つ。南校長は「毎日補

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

に「ここは軍隊か」と反発した。だが、誰でも学校に入れるように校則が緩和され、学校の雰囲気が変わり出した。「全員を高校生にしてあげよう」という市原前校長らの言葉に感化され、積極的にPTA活動に関わった。

自身も同校出身。荒れていた時代で、恐ろしく暴力から逃れるため、ほとんど学校に通えなかった。「今の子に同じ経験をさせたくない」という思いもあった。

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。

で「生徒指導委員会」と呼ばれている会議だが、石垣中は「指導」ではなく「支援」と名前を変えた。髪の色や服装の乱れなど表面的な校則違反を指導するだけでなく、生徒が抱える問題を一緒に考え、支援しようという思いが込められている。